



No.227

2024年7月15日

発行者：治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

愛知県本部

461-0004 名古屋市

東区葵1-22-26

愛知民主会館内

Tel:090-9175-9598

Fax:0564-20-9108

メール：

qdcso14344

@yahoo.co.jp

私たちの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する

一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること

一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

第41回全国大会が開催されました

6月19日と20日の両日、

東京の全労連会館で第41回

全国大会が開催されました。

全国から160人が参加。

愛知県からは7名が参加し、

知多支部の山本さんと西三

支部の若山事務局長が討論

に参加しました。発言内容

を紹介します。

第41回全国大会における

発言

若山晴史

文化闘争

三つの闘争。経済闘争、

政治闘争、文化闘争につい

て発言します。



国賠同盟は労働運動ではないので経済闘争ではありません。

私たちの旗印「再び戦争と暗黒政治を許さない」はまさしく政治闘争です。

国賠同盟は「再び戦争と暗黒政治を許さない」政府を樹立する為の政治闘争の一翼を担っています。政治闘争の中核は政党です。

政治闘争の中核は政党です。

私たちの闘いの主な分野は文化闘争です。

前回大会から今大会までの2年間、全国の伊藤千代子の上映会が開催され、10万人を超える人たちが視聴しました。

この上映運動を通して組織的前進を勝ち取った県・

■県同盟の現勢

7月1日 762名

【入会者】

南東支部3名 一宮支部2名

稲沢支部1名

【退会者】

南東支部2名 名南支部1名

それはそれで総括が必要ですが、文化闘争という点から言えば10万人を超える人たちが、この映画から大きな感動を受けたことは重要なポイントです。

伊藤千代子という名前を初めて耳にした人。伊藤千代子の名前は知っているが、その生涯については何も知らなかった人たちが大部分でした。その10万人を超える人たちの心の中に伊藤千代子の不屈の闘いが、大きな感動をもたらしたことは文化的・政治的な成果であり、文化闘争における大きな前進です。

伊藤千代子という名前を、それ以後も「武器なき闘い」や「鶴彬」などのDVD上映会を開催している知多支部の取り組みについては代議員の山本さんから後ほど発言があります。

私自身、今から半世紀前の青春時代に仲間と一緒に街



若山晴史 事務局長

文化闘争は活字文化から視聴覚文化へと広がっているといわれます。愛知の尾北支部では、かつて毎月戦争ドキュメンタリーDVD上映会を開催し、そのつど会員を拡大し、倍化をなしてげました。

また伊藤千代子の上映会を三百数十名の参加で成功さ

気のない街を歩き回ったことを覚えています。

仲代達矢演じる主人公が盗んだ饅頭を妻に食べさせてやりたいと、妻の名を口にしながら冬の満州荒野をさまよい歩き、最後に力尽き、シンシンと降り積もる雪の中で、彼自身が饅頭のように雪におおわれ人生を終える最後のシーンは、今でもはっきり覚えていますが、しかし視聴覚文化を重視するからといって活字文化を軽視するものではありません。

人の思想や世界観を形づくるのは、まさに活字文化を通じてです。

今回三役会は、この大会に向けて議論を重ね学習テキスト「治安維持法とは何か」を発行しました。

この活字文化である学習テキストの普及・学習を通

して文化闘争・政治闘争を前進させることは今大会の主題の一つです。

スマホの普及により視聴覚の影響はますます強まっています。じっくりと活字を通して思考し学習することの必要性が増しています。

学習テキスト「治安維持法とは何か」を大いに活用して文化闘争・政治闘争を前進させましょう。

来年治安維持法100年を迎えます。国賠同盟は半世紀以上さかのぼる1968年に200余名の治安維持法犠牲者たち自身によって創立されました。

しかし創立時の会員さんは、すべて故人となられました。

私たちはこの運動を更に質的に量的に発展させ、この運動を世代継承しなければならぬ段階に来ていま

す。
今大会では、来年の治安維持法100年に向けて、運動の一層の発展をはかると同時に、2年後の全国大会に向けていかなる要求に基づいて、いかなる名称で治安維持法犠牲者たちが始めた運動を発展継承させるのか議論を開始することを提起しています。

過去に目を閉ざすものは現在に盲目となる。私たちは、治安維持法時代に光を当て、歴史から学び、歴史に働きかける運動体です。

自民党は過去に目を閉ざすだけでなく過去の歴史を捻じ曲げてきました。戦前の特高官僚たちが戦後自民党国会議員となって「新たな戦前」回帰に向けて社会の進歩に逆らい反動化にうごめいていました。

私たちは自民党の戦犯政

治と文化闘争、政治闘争を絶えず続けなければなりません。そして政治闘争の一翼を担うためには2万人の国賠同盟建設はどうしてもなしとげなければなりません。今大会は今までの運動を質的に量的に飛躍させる契機となる大会だと考えています。以上で発言を終わります。

東海ブロック 交流会が 開催されます

今年の東海ブロック（愛

知・岐阜・三重・静岡）交

流会は9月8日（日）から

9日（月）の両日、蒲郡温

泉ホテル竹島において開催されます。

各支部より多くご参加ください。

交流会の日程をお知らせします。

9月8日（日）

午後1時 受付開始

1時30分 開会

開会挨拶

（愛知県本部西田会長）

講演

（永島中央本部事務局長）

テーマ（治安維持法に反対

した山宣）

休憩

学習

（若山中央本部副会長）

テーマ（治安維持法とは何か）

発言

休憩

夕食・懇親会

9日（月） 9時～10時

発言

休憩

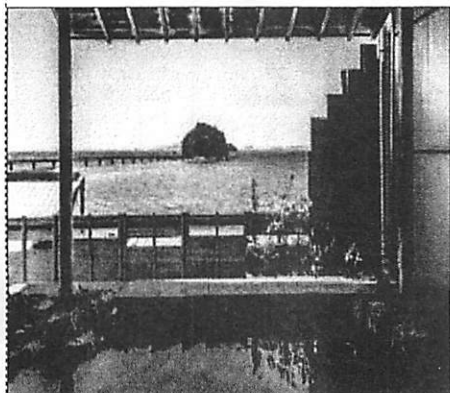
まとめ挨拶（若山）

閉会挨拶

（来年開催県 片桐会長）

13時～A級戦犯記念碑見

学（希望者）



戦争展で「わが青春つきるとも」 伊藤千代子の生涯」が上映されます

8月15日（木）～18日（日）開催される戦争展で「わが青春つきるとも」10時から東文化小劇場で上映することになりました。

まだ映画を観たことのない方、もう一度鑑賞したい方はぜひ戦争展にご来場ください。

戦争展は

時間は10時から17時（最終日は二時終了です。）

場所は市民ギャラリー矢田4階（バンテリンドーム北側）



貧乏な家に生まれた女は、労働や社会運動に参加して始めて人間として認められ人間らしく生きる喜びを感じたのよ……喜美

2026年完成目標

反戦平和と女性労働者の権利を掲げ命の限り闘った若き女性の真実の物語！

「飯島喜美不屈の青春」
(仮題) 映画化！

入場料は500円（映画鑑賞される場合は別に500円）が必要です。
お問合せは主催2024あいち・平和のための戦争展実行委員会
052 931 0070

戦時下最大の言論弾圧といわれる「横浜事件」。
その「首謀者」とされた政治学者・細川嘉六の不屈の抵抗と愛国の軌跡が片山潜・河上肇らとの交友や、妻への愛情に満ちた獄中からの手紙によって、鮮やかに語りつくされる。
ときに「河童」のように暗黒の時代を自在に生き抜いたその生涯は、近代日本の抵抗の歴史そのものである。

河童自伝

細川嘉六
生いたちの記・
「放談」・
獄中書簡



監・編・訳 荻野富士夫・西村央
監・編・訳 細川嘉六ふるさと研究会



細川嘉六の経歴
政治学者・ジャーナリスト・出版家として、東京帝国大学を経て大正社会問題研究所に入り、編輯・雑誌出版に専ら従事。一九四二年、雑誌『河童』の編集・出版に際し、戦時下の言論弾圧に直面し、獄中から筆を執る。戦時下最大の言論弾圧事件「横浜事件」の発端となる。財んで河童の絵を描き「河童老人」と呼ばれた。

日本近代の抵抗の歴史を知る必読の書

細川嘉六のことは、横浜事件をはじめ米騒動の研究や労働党の関わり等で知っていたが、本書で語られる彼の人生は、さながら日本近代無産階級運動史そのものである。国粋主義から出発し、小野塚篤平次との出会い、森戸事件、大原社研、モスクワでの片山潜との日々、満鉄調査部、尾崎秀実との交友等々が、近代史家として知られる服部之総を主たる聞き手として如実に語られる。終始一貫権力に抗してきた細川嘉六の思想形成を知る上で、「生いたちの記」「青春の記」も興味深い。「よそ者」を守る「俠気の強い父」と、その父の死後子どもたちを学校に行かせるために「敢然として」働く母、その気質を受け継ぎ、自ら途を切り開きながら邁進してきた反骨精神は「みづ」といふことがない。あわせて、社会主義思想、治安維持法研究等で知られる荻野富士夫氏による行き届いた解説も理解を助ける。一個人の歩みにとどまらず、日本近代の抵抗の歴史を知る上に必読の書である。

推薦します 黒川みどり

2024年
5月刊行!



A5判・並製・336ページ
定価 2,200円+税 (税込2,420円)
ISBN 978-4-86617-242-2

電子書籍版も同時刊行!
詳細は弊社HP・電子書籍の案内ページをご覧ください